

市章 デザインが決まりました

★★★小川幸三さん(宇部市)が最優秀賞★★★

表紙でご紹介したように、市内公共施設に設置した投票箱や郵便、インターネットなどを通じて市章デザインの投票を実施した結果、宇部市在住の小川幸三さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

(ページ下の「夢いっぱい」に紹介記事を掲載しています)

新市・山陽小野田市がめざす「心豊かでうるおいと活力に満ち、自然と共生した住みよいまち」。これを象徴する市章デザインを4月1日から約2か月間募集したところ、市内外から1,242点の力作が寄せられました。その中から市章選定委員会が最終候補作品3点を選定し、市民のみなさんによる投票を11月21日から12月8日の期間に実施したところ、小川さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

市章の選定において、デザインの応募や投票を通じ、多くの方にご参加・ご協力いただきありがとうございました。今後、このデザインをもとに正式な市章を制定し、市旗などに活用していきます。また、最優秀賞の表彰は、3月に予定している開市1周年の記念行事において行います。

【問い合わせ先】総務課 (☎ 82-1121)

■投票結果(得票順)

《最優秀賞》

小川幸三さん
(宇部市)

得票 621 票



《優秀賞》

小島貞彦さん
(大阪府)

得票 407 票



《優秀賞》

粟屋 寿 さん
粟屋有紀さん
(東京都)

得票 370 票



総投票数 1,433 票

(うち無効投票数 35 票, 有効投票数 1,398 票)

夢
いっぱい!

「住民の一体感が増し、
未来へ発展することを願って」



市章の市民投票で最優秀賞に選ばれた
おがわこうぞう
小川幸三さん(宇部市)

市章デザインの市民投票で、みごと最優秀賞に選ばれた小川幸三さんは、宇部市に事務所を構え、長年デザイン業に携わってきたグラフィックデザイナーです。今回選ばれた作品は、山陽小野田市の『山』と『小』の文字をモチーフにつくられたもの。「合併をした新市でも、住んでいる住民が幸せであることがまず大事と考え、心の温かさや人同士の和、一体感をイメージし、形を円形にしました。また、新市は未来へ向けて変わっていくことも大事です。既成概念にとらわれずに変化・発展をと構想した結果、色をグリーングレーにしたんですよ。」と、作品に込めた想いを語ってくれました。

小川さんは、市内企業の看板や商品宣伝ポスター、包装パッケージなどのデザインも数多く手がけ、山陽小野田にもなじみが深いとのこと。今回の受賞を知って「うれしいの一言ですね。私のデザインを選んでくれた、山陽小野田市のみなさんのセンスに感謝します。」と、笑顔で受賞の喜びを話してくれました。

今後、この作品をもとに制定された市章は、新市のシンボルとしてさまざまなところで活用されます。小川さんがデザインに込めた想いが、市民のみなさんの間に広がって、たくさんの人に親しんでもらえる市章になるといいですね。